

2007年6月15日
社会基盤学科 加藤浩徳

2007年度 社会的意決定論 レポート課題

以下の2つの課題にそれぞれ答えよ。

問題1：我が国の法律に定められている条項で、過半数による単純多数決以外の集団意思決定方法が、記述されているものを1つ挙げよ。そして、そのような意思決定手法となつたと考えられる理由を論ぜよ（1500字以内とする。図表を含む場合には、図表1つあたり150字とカウントせよ）。

問題2：講義で学習した集団意思決定理論をもとに、住民投票による意思決定方法のあり方について論ぜよ。（1500字以内とする。図表を含む場合には、図表1つあたり150字とカウントせよ）。

注意点

1. 必ず、レポート文書中に、所属学科名、学年、学生証番号、氏名を記入すること。いずれが欠けても正しく採点されない可能性がある。
2. レポート作成にあたっては、ワープロソフトを使用すること。MSワード（Word 2003かそれ以前のバージョンを使用すること）あるいはPDF形式のファイルのみを受け付ける。また、ファイル名は、必ず自分の氏名（漢字フルネーム）とすること。例えば、「加藤浩徳.doc」。
3. 完成したレポートは、2007年7月14日24:00までに加藤(kato@civil.t.ut-okyo.ac.jp)までEメールにて送付すること。メールのタイトル(subject)は、必ず「社会的意決定論レポート」とすること。これ以外のタイトルメールは採点されない可能性があるため、注意すること。
4. メール受領時には、受信した旨のメールを返送する。もし、送信したにもかかわらず受信の連絡がない場合には、正しく送信されていない可能性があるため、再送信するか、直接、加藤まで問い合わせをすること。